

事例 21 思考展開シート

(1) 疾病や薬の副作用等の影響は考えられますか？

- ・薬は多いが、副作用は不明。
 - ・体重も重く、膝に負担がかかっている。
 - ・動作はゆっくりである。
 - ・どこかに、痛みがあるときは静かに座っている。
- 【質問】どこかの痛みかなど、具体的な部位などの訴えが本人からありますか？また、訴え時にバイタルサインなどの変動はありませんか？
- 【回答】
- ・胸を押さえての痛みの訴えがある。(興奮時、時折静養時でも)
 - ・立ち上がり時や歩行時に膝関節部が痛いと言う。(医師からは、軟骨がすり減っているのでは仕方ないと言われている)
 - ・痛みの訴え時には、バイタルチェックは行っていない。来所時に1回測り、高いようなら再度測定している。

(2) 身体的痛み、便秘・不眠・空腹等による苦痛の影響は考えられますか？

- ・便意をもよおしても、じっと座っているので、排便のサインが読みとれない。紙パンツ内の失便が多く、トイレですることは少ない。失敗すると、「迷惑かけるね。」「ありがとう。」と言い機嫌がよくなる。
- 【質問】失便の頻度や排便の周期は、どのくらいですか？
- 【回答】
- ・家族の話では、2日に1度の排便。
 - ・デイサービスでは、月3～4回失敗する。

(3) 悲しみ・怒り・寂しさ等の精神的苦痛、また本人の性格等の影響は考えられますか？

- ・若くして未亡人になったのは寂しい。家族を支えるため、再婚は考えなかった。
 - ・仕事には山間地へ歩いたり、バスを使って通った。「ひどかった。」「帰りも遅かった。」
- 【質問】家族のために頑張ってきて、大変な苦勞をしてきたことが、現在の様子にも関係していると思いますか？
- 【回答】
- ・女手ひとつで家族を支えてきたためか、負けん気が強いように感じるが、職員の手を握りなかなか離さないことがある。
 - ・「下手な戦争をしたものだ。」とよく言う。
 - ・デイサービスからの帰宅時は、忠魂碑に必ず手を合わせる。

(4) 音・光・味・臭い・寒暖等感覚的な苦痛を与える刺激の影響は考えられますか？

- ・カラオケで他者が歌っていると「やかましい」と怒鳴る。
 - ・自分が歌うのは良い。
 - ・マイクは1番に持ってもらう配慮をしている。
 - ・食事もデザートも、美味しくないと食わずに残す。
 - ・車いすに乗ると、「これは良い。」と喜ぶ。
 - ・濃い味が好きで「薄味。」とたびたび言っている。
- 【質問】マイクを一番に持ってもらうことで、本人の気持ちがどのように変化している(するのでは)と考えていますか？
- 【回答】
- ・一番に歌うことで自分が優先され大切にされていると感じていると思われる。機嫌が良く他の方の歌も快く聞いている。しばらくすると自分が歌ったことを忘れて不機嫌になることもある。

本人の言葉や状態
ワークシートC- に書いた、本人の言葉や行動を書き出し、関連のありそうな情報を整理してみましょう。

- ・失便の時は、「迷惑かけた。ありがとう。」と言う。
- ・顔にご飯粒をつけている、こぼす、等に対し、「行儀が悪い。」と怒り出す。
- ・自分の使っている歩行器と同じ歩行器(施設の物)を他者が使っていると、「私の物を勝手に使うな。」「泥棒。」歩行器をひっぱる、投げつけるなど行う。
- ・自分も自由に歩けないが、他者が車いすに移動していると、「歩くこともできない。」と言う。
- ・他者がカラオケを楽しんでいると「やかましい!」(自分は先に歌った)
- ・「私は大事にされて育った。」「ここら一体は私の地面だ。勝手に使っている。」

(5) 家族・介護者など周囲からの過剰、あるいは少なすぎる関わりの影響は考えられますか？

- ・家族は熱心に介護しているが、言いたいことははっきり言うので、言い合いは多い。娘とけんかしてきた日は、特に怒りが見える。
 - ・娘から、失敗、発言に対し注意があり、お互いに言い合いになる。
 - ・娘は、もっとおとなしくなって欲しいと思ったり、苦勞してきた人だから優しくしようという気持ちで、揺れ動いている。
- 【質問】娘には、日々の苦勞や本人に対しての複雑な心境を話せる人や場所がありますか？
- 【回答】
- ・ケアマネジャーやデイサービスの職員にはよく話してくれる。家族にはあまり話をしないようである。

(6) 障害程度・能力の発揮に対して、住まい・器具・物品等物的環境による影響は考えられますか？

- ・家の手伝いもしなくて大事に育てられた。ここら一帯は私の土地である。勝手に人の地面を使って挨拶にも来ない。
 - ・みんな私の物。
- 【質問】自宅では安心して過ごす時間も長く持てているのでしょうか？
- 【回答】
- ・自宅では、娘や家族と口論となり興奮もたびたびあると思われる。また、生まれた家が自分の家で、嫁いだ家は違うと言うことがある。
 - ・最近自宅をリフォームし、環境が変化した。

(7) 要望・障害程度・能力の発揮と、アクティビティー(活動)とのズレによる影響は考えられますか？

- ・運動神経も良く、いつも選手に選ばれていた。
 - ・どんなスポーツも頑張ってきた。出来ないと言って投げ出したり、失敗することはなかった。「負けたことがない」
 - ・字を書くことがとても上手い。
- 【質問】投げ出したり、失敗したりすることがなく「負けたことがない」という今までと、現在実際に出来ること、とにギャップはありますか？
- 【回答】
- ・字を書くことでも間違いが増えている。本人は「間違っていない。」と言う。スタッフは上手な字だと思っている。「前はもっと上手だった。」と言い、自分自身に腹を立てている様子もある。

(8) 生活歴・価値観等に基づいた暮らし方と、現状とのズレによる影響は考えられますか？

- ・今までは、自分主導できた。私の言うことは正しかった。
 - ・職場では、管理職だった。
 - ・行儀の悪いのは親のしつけが悪い。
 - ・慣れない田んぼにも入り職場まで歩いて通った頑張り屋である。資格も勉強して取った。楽器演奏も上手である。みんなも頑張りば良いのにと思っている。
 - ・孫の育児も手伝い、娘を助けてきた。
 - ・戦時中も大変苦勞した。
- 【質問】自分主導で暮らしてきて、周囲に対しても「みんなも頑張りば良いのに。」と思っている気持ちと、現在の本人の立場や暮らし方などにズレが生じていると考えられますか？
- 【回答】
- ・自分の意志より、娘の言うままにすることを情けなく思っている。ダメになった自分は、もう死んでも良いと言うこともある。